

受け継ぐ商売DNA

加西市に住む人なら一度は聞いたことがある「シャルム」の名前。加西を拠点に11店舗を展開し洋服を販売していたお店です。今は「ええもん王国」に名前を変え、飲食や美容関係など幅広く手掛けており、婚活相談など市の事業も担っています。祖父が始めた事業を継承し、3代目として活躍する深田美香さん。経営者として歩み出すまでのお話やリニューアルしたカフェレストランへの思いを伺いました。

バイキングレストラン「ええもん王国」。ゴールデンウィーク真つ只中、常連客で賑わう店内におじゃますると中からはつらつとした女性が出迎えてくれました。深田美香さん、この店の経営者です。4月からお店の内装をリニューアルし「デパ地下をイメージした『デリカテッセンスタイル』のカフェへと一新しました。



真新しいキッチンでスタッフの皆さんと

父親の背中から

元々は祖父が始めた洋服店。加西給食（のちの本陣）や北条アパートなども経営する根っからの商人だったそうです。父は、祖父の事業を継承しスーツ、カジュアル服専門店の「シャルム」を設立。そんな商売一家で育った深田さんは2017年に先代社長である父から事業を引き継ぎました。「小さい頃の夢は学校の先生。家業には全く興味がなかったんですけどね」と笑いながら語ります。3人姉妹だったこともあり、商売には無関心でした。

大学は県外で過ごし教職課程を専攻。将来は教員の道に進む予定でしたが、父の背中からは「お客様から頼まれたら、出来るだけのことはやってあげて」と従業員にも伝えていました。

続くチャレンジ

これまでは、人から頼まれたことに取り組んできたという深田さん。これだけは、自分がやりたいと思うてやっているのが、今回のリニューアルでした。

「地産地消。おいしいものを作る生産者さんや従業員に対して、きちんと対価をもらえるような仕組みづくりをしたい」という思いで店づくりをしています。

野菜をたくさん食べてもらえるように、ショークースに料理を並べるデリカテッセンスタイルを採用。料理はテイクアウトもで

ら「商売は何をやっても同じ。人々が欲すること、喜ぶことをする」ことを学び「私の道もこつちなんやな」と自然に思えるようになり、卒業後はシャルムに入社。家業を手伝うことにしました。

家庭よりも仕事

配属先は「シャルム山崎店」。片道50分かけて通勤しました。そこで販売スタッフとして働きながら、結婚、出産を経験。出産の前日まで働き、産後も2カ月で復帰するという仕事ぶりでした。復帰後はバイヤーとして東京や海外を飛び回る生活に。自身が小学生の頃、先生から晩御飯を食べる時間を聞かれた時のことを思い出しました。19時に食べると答える同級生が多い中、先生の「20時以降は、さすがにいないよね」の言葉に戸惑う。母親が閉店後に晩御飯を作る関係で21時以降に食べるのが普通だった深田さんはこの時「自分の家は普通じゃないんだ」と思ったそうです。大人になった深田さんも、いつも家に帰るのが遅く、一緒にご飯を食べることもできなかった娘には寂しい思いをさせたと、仕事と家庭の両立の難しさを話してくれました。

素人経営に転機

共同経営だったシャルム。一時期は、11あった店舗も時代の流れから規模を縮小し分社化へ。当初は明石などの商業施設にインショップとしての出店を考えましたが、加西に残る道を選びます。「違うこともした方がいい」

き、野菜は店頭で買つこともできます。また、店内中央には加西の市木でもある大きなかしの木が植えられており、子育て世代のお母さんたちがくつろげる空間をイメージしています。

「嬉しいことに未だに、シャルムのあったところとよく言われます。そのたびに父親はすごいなと思う」。だから今でも「シャルム」の社名を残しているという。形態は変化しても、従業員が誇りに思えるような会社を作っていきたいと語る深田さん。

そしてこの春、新たなチャレンジとして、障がい者の雇用、就労支援する就労継続支援A型事業所を立ち上げました。お弁当の盛り付けなどを担ってもらうという。「高齢になった従業員が盛り付けなどの指導ができれば」と思って。雇用を確保する意味もあるんです。



かしの木を囲むテーブルは、シャルム時代に父が作ったジーパン台をリメイクしたものです。

という父の助言もあり、レストランを併設させました。ところが、飲食も経営も素人。『当時は経営者感覚が低く未熟だった。何度か辞めようと思った』。レストランは半年で閉店。苦しかった時期を振り返ります。「私の人生、人には恵まれていて、困ったときには救世主が現れるんです」。同級生から誘われた加西商工会議所青年部への所属が転機となります。経営について相談できる仲間ができ、横のつながりを広げることが出来たそうです。「経営者人生で一番大きな出来事だった」と話してくれました。

キラリびと vol.14



深田美香 Mika Fukata

昭和48年生まれ。大学卒業後、シャルムへ入社。販売スタッフ、バイヤーなどを経て、2017年に代表取締役役に就任。2022年4月、ええもん王国をリニューアルし、「Ek.delicafe」をオープン。



先代社長でもあるお父さんとの2ショット。お店に出す野菜を作ってくれています。

今まで付いてきてくれた従業員には感謝しかないといひます。

それともうひとつ。「看護師になった娘のためですね。先の話ですけど、継げる場所を作っておきたかったです」と、最後に母親としての顔をのぞかせました。

すっきゃ かさい 6月 広報

表紙	01
キラリびと 深田美香	02
子育て家族応援します！	04
特集	
市政情報	08
TOPICS トリアスロン	08
イベントカレンダー	14
まちかど PHOTO ★ニュース	16
くらしお役立ち情報	18
わくわく子育て情報	25
そうだ！図書館へ行こう	26
おくやみ／各種相談	27
とびだせ！かさいっ子	28
加西から広めよう世界の輪 みんなで使おう加西弁	

KASAI データバンク

R4.4.30 現在（前月比）

人口／42,494人（0）

男／20,836人（-7） 女／21,658人（7）

世帯数／18,242（49）

4月の出生数／12人 死亡数／53人

●6/8、22は市民課・国保医療課窓口を延長
（17:15～19:00）